

目次

概要

[TMS のシステムは H.323 ゲートウェイを呼出す選択を与られません。これは、なぜですか。](#)

関連情報

概要

この技術情報は Cisco TelePresence 管理スイートに関連しています。

Q. TMS のシステムは H.323 ゲートウェイを呼出す選択を与られません。これは、なぜですか。

A. H.323 を作るために H.323 ゲートウェイを、TMS システムに H.323 ゲートキーパーに IP 帯域幅が、登録されているある、こと割り当て IP ゾーンに定義されるゲートウェイプレフィックスがあることを確認しなければなりません呼出し。

1. IP 帯域幅をチェックして下さい:
 1. システム > ナビゲーターに行ってください。
 2. システムを選択して下さい。
 3. **Settings** タブをクリックして下さい。
 4. コール設定ペインの最大 IP 帯域幅が大きいよりこと 0 を確認して下さい。(そうでなかったら、必要なアクセス許可があり、『Edit Settings』 をクリックし、帯域幅を入力し、『SAVE』 をクリックし。)
2. ゲートキーパー ステータスをチェックして下さい:
 1. 要求システムに関しては、システム > ナビゲーターに行ってください。
 2. システムを選択して下さい。
 3. **Settings** タブをクリックし、ネットワーク設定 ペインにスクロールして下さい。
 4. H323 コールセットアップ モードがゲートキーパーであること、そしてゲートキーパーの登録ステータスが登録されているようにして下さい。
3. IP ゾーン 設定をチェックして下さい:
 1. まだ **Settings** タブで、汎用ペインの下で、IP ゾーンがシステムに関連付けられる注記。
 2. **管理ツール > 場所 > IP ゾーン**に行ってください。
 3. システムに関連付けられる選択し、ドロップダウン メニューを使用し、『View』 を選択して下さい IP ゾーンを。

ゲートウェイ オート プレフィックスは H.323 ビデオ呼び出しのために使用されます。

ゲートウェイ電話プレフィックスは電話のために使用されます。

プレフィックスが定義されない場合、TMS はこの IP ゾーンと関連付けられたシステムのための H.323 ISDNコールを提供しません。

コールをスケジューリングを使用して試みるとき、各システムの TMS スケジューリング設定はまた考慮に入れます。各システムに各コール プロトコルの着信コールおよび送信コールのための割り当て権限があります。TMS は割り当て権限がコールの各エンドポイントによって要求

されるコールの方向のために与えられない場合コール ルートを提供しません。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)